

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成26年10月24日(金)

研究課題	甲州印伝への山梨県産鹿革の活用とプロダクトの試作開発	
研究期間	平成27年度～28年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	4.0
	研究目的の妥当性	3.8
	研究内容の合理性・新規性	3.4
	研究予算の妥当性	3.4
	目的達成の可能性	3.4
	期待される研究成果	3.8
	予備研究の状況	3.4
	総合評点	3.6
<p>本県に生息するニホンジカについて、富士北麓地域に生息するニホンジカをモデルケースとして、その有効活用策としての鹿革製品の試作開発と、効率的な捕獲方法等について研究し、県産鹿革の有効活用に係る提案を行うことを目的としている。</p> <p>印伝業者には甲州印伝に甲州産のニホンジカの革を使いたいという要望があるが、一定量の安定供給の確保がネックとなっている。県産鹿革の活用のためには、総合的な方策を提案することが必要である。</p> <p>また、デザインアーカイブとの連携が興味深いのが、より付加価値の高い甲州印伝といったことについての具体性に乏しく感じられる。鹿革製品の試作開発にあたっては、業者と十分連携し、伝統技術を批判的に理解した上で、新しい技術の導入を図ってほしい。</p>		